

★定時上映 10月14日(土)~1月14日(日)の土日祝

★星空解説「今夜、なにがみえるかな」2023 秋

秋は落ち着いた夜空が広がります。特に目立つ星は少ないのですが、その夜空には壮大なギリシャ神話の物語が描かれています。大きな星空のキャンパスに描かれた秋の星座の物語を紹介しします。

★テーマ番組「華麗なる銀河の世界」

私たちは星の大集団、銀河系(天の川銀河)にいます。宇宙には銀河がたくさんあり、その姿もさまざまです。人類が解き明かしてきた銀河の姿をゆっくりご覧ください。

脚本・演出：駒井仁南子 プログラマー：佐藤幹哉

★土日祝の上映時間	テーマ番組 10:00~/13:00~/15:00~ 星空解説 11:00~/14:00~/16:00~ テーマ番組、星空解説ともに約20分
-----------	--

- ・定員：各回先着50名(上映1時間前から発券)
- ・費用：高校生以上100円(中学生以下無料)
- ☆平日のみ団体上映を受付
(2日前までに要予約。ただし、休館日を除く)

★星空 LIVE コンサート

「鳥ソングなどの弾き語り」

ゲスト：♪鳥くん(我孫子鳥の大使)

星空解説：駒井仁南子

日時：10月28日(土) ①13:00~ ②15:00~

※開演1時間前から発券

費用：300円 定員先着50名 当日の定時上映はなし

星空ドームの下で野鳥の動画を見ながら歌と解説を楽しんでいただきます。

★星空たんけん観望会

月と木星と土星、秋の星空と秋の四辺形

日時：11月18日(土) 17:30~19:30(受付開始17:00)

天文教室 17:30~18:00 観望会 18:00~19:30

費用：100円(中学生以下無料)

持物：懐中電灯(赤色灯推奨)

定員：50名(小学生以下保護者同伴)

申込み：11/6~11/17までに水の館

手賀沼周辺のイベント情報

※手賀沼周辺のイベントへのお問い合わせは
手賀沼課 TEL 04-7185-1484 へ

日本最大級の鳥の祭典 ジャパンバードフェスティバル(JBF) 開催!

11月4日(土) 5日(日)

○全日本鳥フォトコンテスト

4日(土) 10:30~11:30

- ・作品展
(生涯学習センターアピスタ2階ミニホール)
- ・講演会
(生涯学習センターアピスタ1階ホール)

○鳥学講座

「小笠原諸島の海鳥は、増えたり、減ったり、海を越えたり、越えなかったり」

講師：森林総合研究所 鳥獣生態研究室長 川上和人

4日(土) 13:30~15:00

(生涯学習センターアピスタ1階ホール)

○船上バードウォッチング(各回当日先着)

- ・11/4 11:00 / 13:00 / 14:30
- ・11/5 10:30 / 12:30 / 14:00
- ・大人：1,000円、小学生以下：500円

○スタンプラリー

Xmasプレゼント抽選つき!



<JBFとは?>
鳥と自然を愛する人たちが、一堂に会する年に一度のお祭りです。
当日は手賀沼親水広場や手賀沼公園でイベントが開催されるほか、山階鳥類研究所の公開や鳥の博物館の入館料が無料になります。鳥グッズのお店やカメラ用品もずらり!
どなたでも楽しめる内容になっていますので、ぜひ、ご家族でお越しください。

★最新の情報は JBF オフィシャルホームページをご確認ください。

問い合わせ：
(JBF 実行委員会事務局
我孫子市手賀沼課)
土日祝日を除く 8:30~17:00

★クリーン手賀沼推進協議会

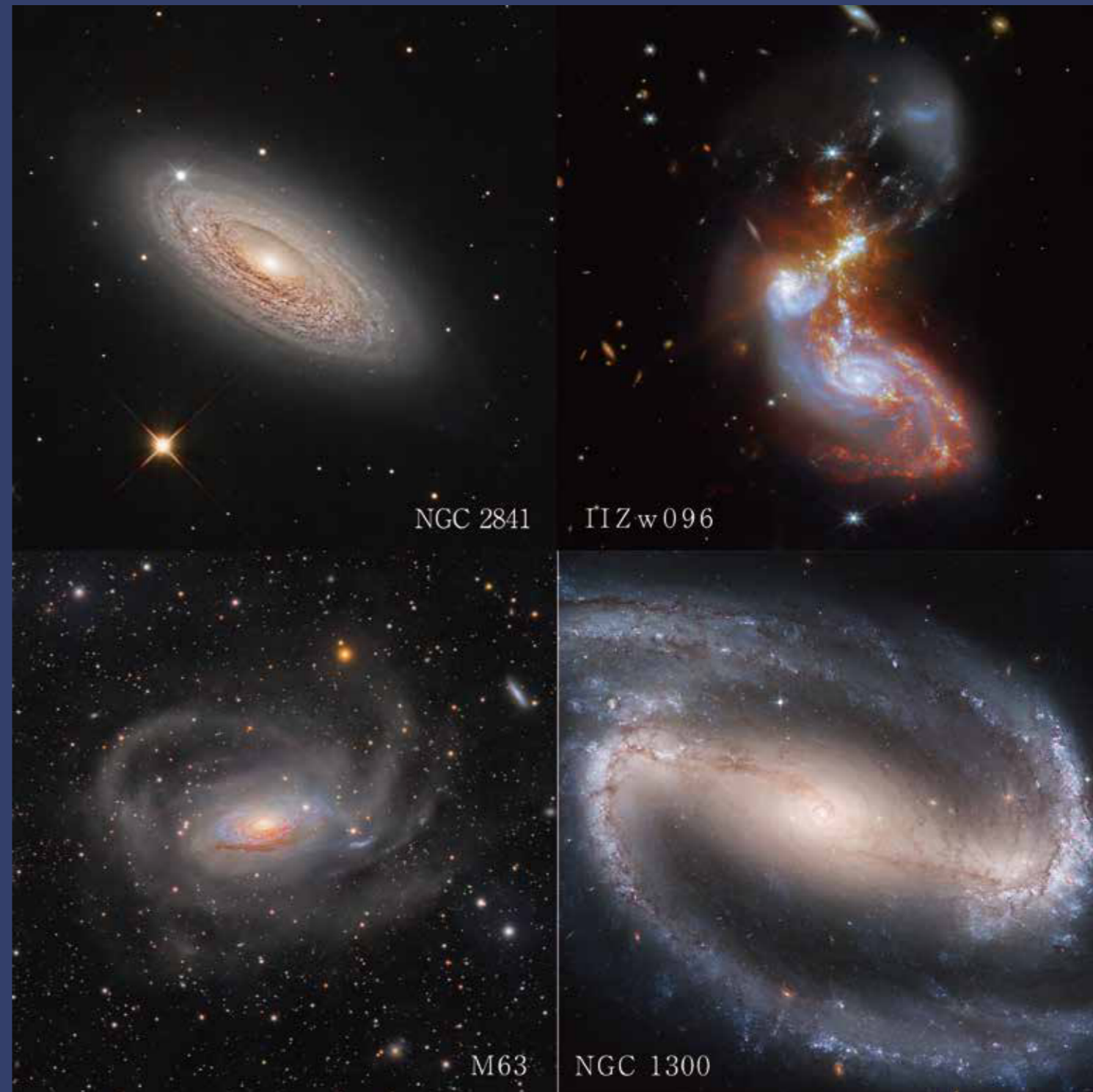
「遊覧船で手賀沼について学ぼう!」

【日時】①12月2日(土) 10:30~ ②1月20日(土) 10:30~
※雨天・強風の場合は中止

【場所】ボートセンター小池前集合 【費用】無料
【定員】26人(要事前申込) 【対象】どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
【申込】①11月17日(金)~12月1日(金)までに
②1月5日(金)~1月19日(金)までに
手賀沼課 電話：04-7185-1484



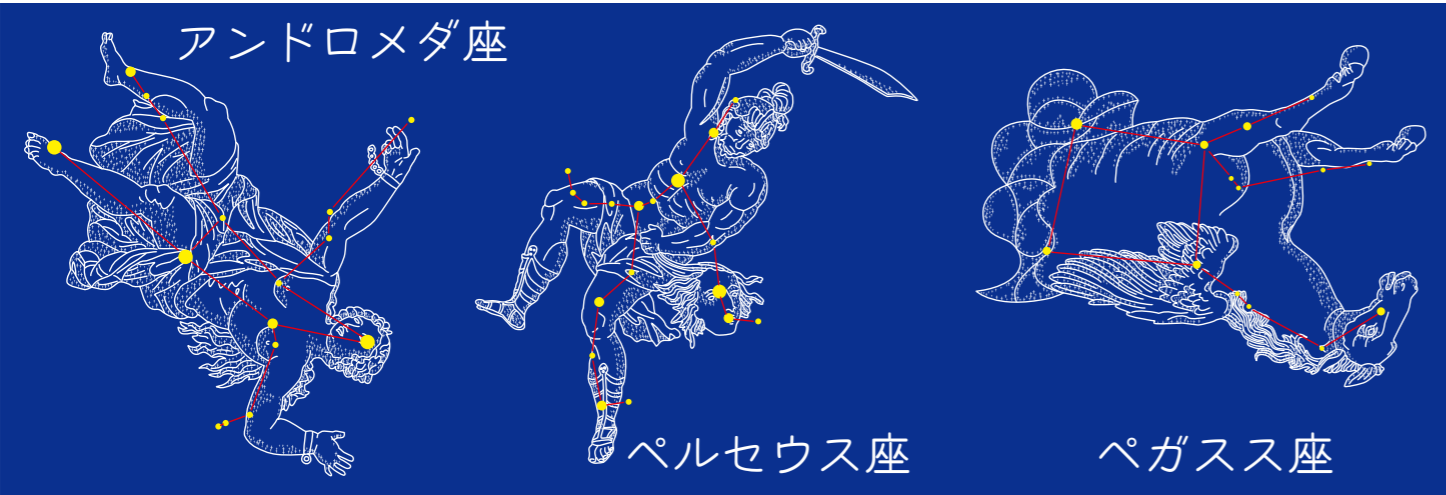
宇宙に存在する、数々の銀河。テーマ番組でも銀河のお話をします。



銀河の写真 ©NASA, ESA

星座の物語 ～秋に見られる星座たち～

今回ご紹介する星座は、ギリシャ神話で語られる有名な恋物語、そして勇者の話に登場する星座たちです。ギリシャ神話は化け鯨が出たり、人と馬が一体化した神が登場したりと、荒唐無稽な話に感じます。しかし、日本に伝わる物語を思い返すと、桃太郎は桃から生まれた…など、常識にとられない自由な発想があります。ギリシャ神話もそんな昔語りを楽しむ気持ちで接すると、よりよいかもしれません。



アンドロメダ座
 アンドロメダ姫は、ギリシャ神話きってのヒロインです。エチオピア王の娘でありながら、母親の自慢話が海の神の怒りをかい、生贄として化け鯨に捧げられてしまいました。なんと理不尽な。しかしそこに登場するのが勇者ペルセウスです。ペルセウスに救われたアンドロメダ姫は、彼と結ばれ幸せな人生を送ったと神話は伝えます。

ペルセウス座
 ペルセウスは神と人間の子として生まれ、多くの苦難を乗り越えながら成長します。そして見た物全てを石に変えてしまう怪物メドゥーサを退治。見事役目を果たしたペルセウスは空を飛ぶことの出来る馬、ペガサスに乗って帰還、その折りに海上に見かけた姫こそがアンドロメダでした。姫に迫る化け鯨にメドゥーサを見せて石にかえ、姫を救出します。

ペガサス座
 英語名のペガサスの方が一般的かもしれませんが。かつて歌にもペガサスに乗って…と歌われていました。一方ペガサスをラテン語で読むとペガサス。星座の名称としては、ラテン語読みを採用しています。勇者ペルセウスとともに秋の夜空に星座として見られます。

2023 年秋の天文イベント

10月29日 部分月食

10月29日の明け方に部分月食が起こり、部分食の始まりから終わりまでをほぼ日本全国で見ることができます。我孫子では4時35分にかけて始め、5時54分に部分月食が終わります。その直後に月が沈みます。最もかけるときで月の13%ほどが暗くなります。月が沈む少し前の現象ですので西の空が開けた場所で観察するといいでしょう。

11月 見頃を迎える木星

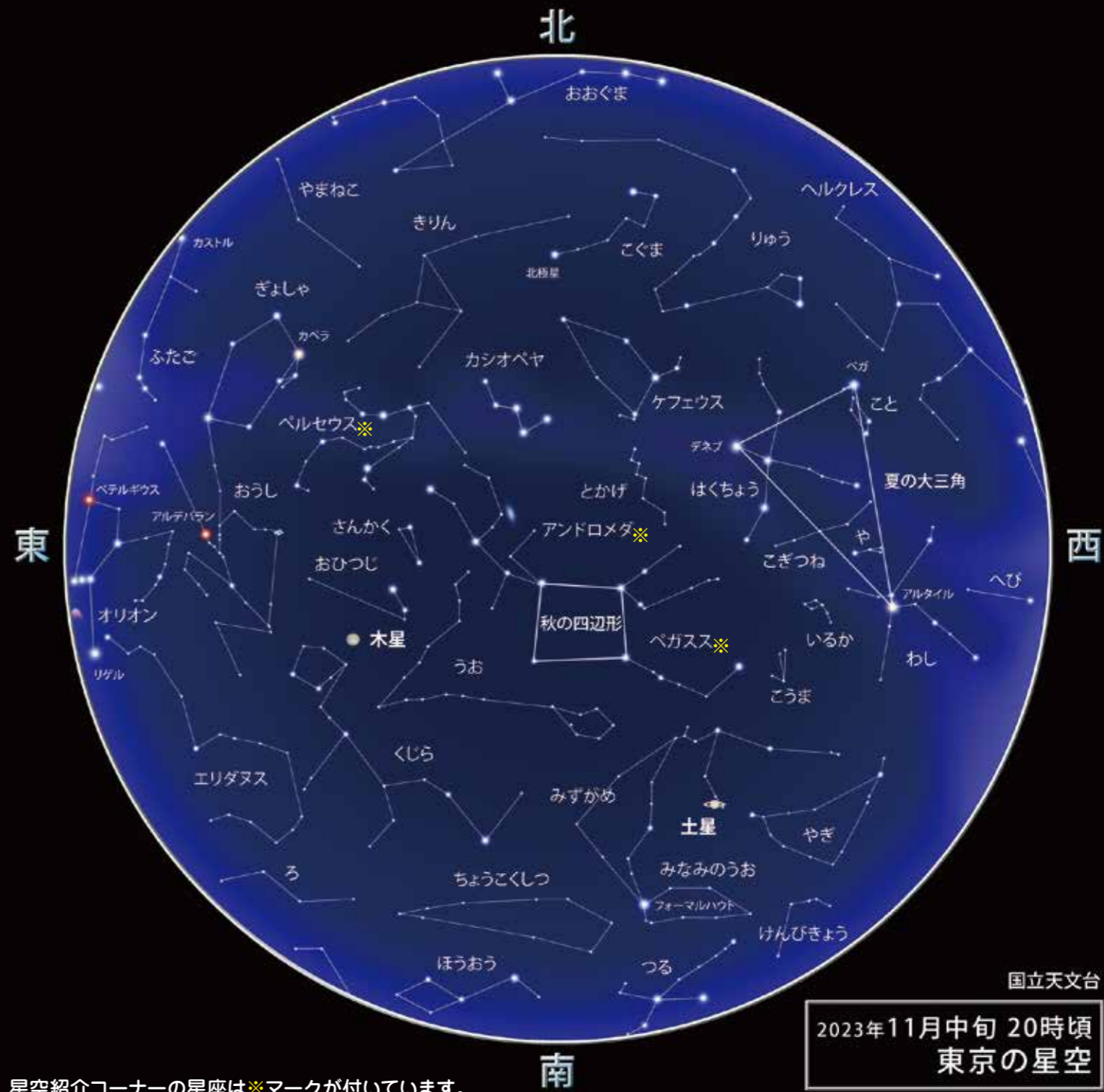
20時頃、東の空にひととき明るく輝いて見えます。夜半に入るとつれ、南の空へと移動していき、ほぼ一晩中見ることができます。木星は金星に次いで明るく見える惑星です。実際の大きさは地球の11倍。とても大きな惑星なので遠く離れていても明るく見られます。11月3日に「衝」を迎え、これから見頃となります。

11月 土星や天王星も見頃

木星ほどは明るく見えませんが、土星も秋の夜空に輝いています。星座を作る恒星が瞬いて見えるのに対して、惑星はチラチラと瞬きません。瞬いているかどうかで惑星か恒星かが判断できます。天王星も比較的明るくなっているのですが、肉眼では見ることは難しいでしょう。望遠鏡で観察できます。肉眼で見られる5惑星は昔から発見されていましたが、天王星は望遠鏡が発明されてから発見された惑星です。

12月14日前後 ふたご座流星群

今年は月明かりも無く絶好の条件で見られます。流星群には一番多く流れる極大（ピーク）があります。今年の極大は15日4時頃。その前後の13日夜、14日夜、15日夜辺りが見頃となります。とても寒い時期ですが、条件の良い今回は是非、ご覧になってください。



星空紹介コーナーの星座は※マークが付いています。

国立天文台
 2023年11月中旬 20時頃
 東京の星空

天文ニュース 日本のロケット開発

2023年、残念ながらH3ロケットの打ち上げに失敗してしまいました。前後してイプシロンロケットの失敗、ロケット燃焼試験の失敗と暗いニュースが続きます。ロケットは大きなエネルギーをコントロールするために数万点にも及ぶ部品を精度良く製作しなければ成功にたどり着けません。そして2023年9月7日、H2Aロケットの打ち上げに成功しました。長い伝統を持つ日本のロケット開発。失敗を教訓として、より安定した歩みが続くことが期待されます。

星空ミニクイズ

小惑星探査機「はやぶさ2」が探査した小惑星リュウグウ。リュウグウの地形には日本ならではの名前が多く付けられました。どんな名前が付けられたでしょう。

- ①日本の都道府県名
- ②日本を中心とした民話にちなむ名前
- ③日本の有名な科学者の名前

答えは水の館3階、プラネタリウム前のスタンプコーナーで説明しています。

2023年度秋のスタンプ

スタンプはプラネタリウムの前にあるよ

ミニギャラリー

水の館プラネタリウムの入り口奥にある
 番組テーマに沿った展示スペースです

小惑星探査

今、小惑星探査が注目されています。日本の「はやぶさ」が先鞭をつけた探査。アメリカの探査機も小惑星を訪れました。小惑星を調べると何が分かるのでしょうか。小惑星探査機「はやぶさ2」の1/2模型も展示して紹介します。

